

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立烏城高等学校		
実践者等	太田重成	実践日	令和3年7月～
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	校務(校内研修)		
対象生徒(学年等)	教職員		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Classroom		
実践の概要(ねらい等)	教員の「学び」の共有化のためのプラットフォームとしてClassroomを活用した。		

実践の内容

[ねらい]

Google Workspace for Educationの活用が始まり、様々な研修や資料が提供された。その研修内容や資料、情報を共有・蓄積することにより、学校全体での1人1台端末活用のスキルアップと学校全体で「学び」を共有する仕組みづくりを図った。

- (1) Classroom「学びの森」を作成(名称は若手教員からの提案を採用)
- (2) 「教師」として管理職、指導教諭、校内管理者、ICT活用推進委員、授業改善委員、初任者指導教員を設定。「生徒」はそれ以外の全教員を設定
- (3) 「授業」には以下のカテゴリを作成した。

① 指導資料

文科省や国立教育政策研究所の資料(「指導と評価の一体化のための～」等)

② 総合教育センターリンク集

羅針盤、ユニット研修、eラーニングで活用できる研修動画、ICT活用実践事例集、岡山県若手教員支援サイト 等

③ GIGA School 関連サイトリンク集

Google GIGA School、子供の学び応援サイト(文科省)、GEG Okayama 等

④ ICT活用指導力の向上

Google for Education 活用ライブラリ、StuDX Style(文科省) 等

⑤ [各種アプリ・サービス] 活用(複数)

校外の参考資料、校内で作成したマニュアルや動画 等



(4) 「ストリーム」には県から提供された研修情報だけでなく、Google や高教研、外部団体の研修情報をリアルタイムに掲載した。

[今度の展開]

オンラインも含めて研修の機会は非常に多くなった。研修によって個人が成長するだけでなくその内容をどのように水平展開していくかという課題に対して、研修受講者の実践に頼るだけでなく、研修内容を発表（公表）し、学校全体で共有する機会を設けることで、受講者にとってはメタ認知による研修内容の定着も図った。研修内容が共有されることにより学校全体での「学び」となり、学校の代表として研修に積極的に参加してもらおうという雰囲気を作っていきたい。

参考となる HP 等	
------------	--